

# 宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.53

## 石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

### ◆活動報告その53 [2013年10月12日]

三連休の初日、土曜日の朝とあって、東北新幹線はやて25号は行楽客で満席である。曇り空の仙台駅前で東北大学の米澤さんと合流し、いつものように宮交バスの石巻行き高速バスの列に加わる。降車駅JR石巻までは約60km、渋滞がなければ1時間15分の行程である。

さて53回目のスクーリングは英語検定の本番である。そのため谷村和枝さんは自塾での英検指導のため不参加。そこで「鬼の居ぬ間に洗濯」ということで、終着の石巻駅まで行かず途中下車をすることにした。バスが三陸道を降りて石巻市内に入ると、最初の停留所がショッピングセンター・イオンモールである。広大な駐車場を備え、スーパーマーケット、専門店街、フードコートそして8スクリーンのシネコンまで併設した、郊外型一大アミューズメント施設だ。石巻駅前の立町商店街に心をひかれ、シャッター通りに心を痛める当方にとっては、仇敵とも思える施設である。

市内中高生が休日に訪れたい所の筆頭が、ここイオンモールだという。先の津波被害を直接受けたのは駅前の商店街地区、郊外のこの地はまったくの無傷。まことに皮肉にして酷な話だが、悲しいながら、これもまたこの町の現状である。そしてその結果、復興需要の資金の大部分は、こういった大型商業施設に吸収されてしまう。中央資本の大企業に富が偏重し、地域の庶民の経済が潤うことが少ない。復興途上にあるこの地に、現代日本の縮図が見てとれる。

イオンモールの背後の新蛇田地区では、復興住宅の造成が行われている。予定戸数4,000戸だそうだが、その完成までは何年を要するのか分からない。だが数年後には、このショッピングセンターを中心に新たな新興住宅地が完成することであろう。その結果石巻の生活の中心はこの地域を核とした郊外に移り、旧市街は蚊帳の外に置かれることになるのではないだろうか。地域経済の負のスパイラルが、津波被害を契機に一気に加速しているようだ。

さて、前号で石巻の復興住宅の現状に触れた。最新のデータでもう少し広範な復興状況を紹介しよう。このデータは石巻市報10月号の「震災復興情報」によるのだが、寺子屋にお孫さんを送ってこられるMさんが、いつも提供してくださる資料の一部である。

#### 石巻市の主な復興事業の進捗状況

項目	復興・復旧状況の指標		進捗率
	被害状況の指標		
市道・橋りょう等	復旧完了した総延長	137,825m	46%
	被災した総延長	300,636m	
下水道施設	復旧工事に着手	47,699m	20%
	被災した汚水管延長	234,276m	
漁港	工事発注済み漁港数	30漁港	68%
	被災した漁港数	44漁港	
水田	作付完了水田	1,274㌖	72%
	冠水した水田	1,771㌖	
震災がれきの一次処理	収集運搬済みの量	329万ト	80%
	震災廃棄物推定処理量	413万ト	
水産加工団地の再建	再開企業数	111社	54%
	震災前の企業数	207社	
石巻漁港水揚量	25年1月～8月	50,889ト	66%
	22年1月～8月	77,496ト	
防災集団移転事業	造成工事着工地区	19カ所	37%
	対象地区	51カ所	
復興公営住宅の整備	用地取得済戸数	2,327戸	58%
	整備目標戸数	4,000戸	

さて53回目のスクーリングの出席者は、英検受検者が10名。内訳は準2級2名、3級3名、4級4名、5級1名である。準2級にはもう



英検4級会場風景。試験監督は米澤さん

1名高校2年生がいたのだが、学校行事で欠席となったのは残念であった。一方漢検学習組は21名に体験参加者1名が加わり22名。

一方我々スタッフは谷村志厚と東北大米澤さん、それに地元石巻の佐久間さんというおなじみの顔ぶれである。

英検の実施ということで

### 石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

- 活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日  
 第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日  
 第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日  
 第Ⅳ期 2012年11月24日～2013年2月23日  
 第Ⅴ期 2013年3月10日～6月8日  
 第Ⅵ期 2013年6月16日～11月9日

- ①スクーリングの実績と予定（漢検・英検学習）  
 2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日、11月10日、25日、12月9日、23日、2013年1月13日、26日、2月9日、24日、3月10日、24日、4月7日、21日、5月12日、6月1日、16日、7月7日、21日、8月12日、9月1日、15日、10月12日、10月27日、11月9日
- ②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所
- ③検定受検（第Ⅵ期）  
 平成25年度第2回英検 2013年10月12日  
 平成25年度第2回漢検 2013年11月9日
- ④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民
- ⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料



場奥に検定用の2教室を配置し、手前全面に漢検学習組をロの字に置いた。なにしろ集会所というオープンなスペースゆえ、パテーションを置いたとはいえず音漏れは避けられない。ましてや英検にはリスニングが伴うので、受験環境はすこぶる悪い。しかしながら、皆さん不平ひとつ漏らすことなく、集中して検定問題に取り組んでいた。

一方漢検組はというと、11月9日に検定を申し込んでおられる9名の方には過去問を提供し、模擬試験の形式で解いていただいた。皆さんほぼ合格点に達しているようで安心した。そんななかで、準1級を本会場で受験されるAさんが、合格ラインを超えているのには目を見張った。彼女は2度目の挑戦だが、ついに難関準1級を突破できるか、楽しみである。そしてもう一つのトピックス。9月から寺子屋に通い始めた中学2年生のSさんは、準2級の過去問で正答率9割を超える驚異の成績をたたきだした。新しい才能の芽生えに立ち会える楽しみが、またひとつ生まれた。 報告：谷村志厚

**過去5の漢字検定実績・74名受検中合格者59名**  
 2級-13名、準2級-14名、3級-14名、4級-6名、5級-7名、6級-3名、7級-2名（小中学生21名、一般38名）

**英語検定実績・13名受検中合格者12名**  
 準2級-1名、3級-4名（準2・3級とも1.2次完全合格者）  
 4級-4名、5級-3名（小中高生9名、一般3名）

**ご支援ありがとうございます**  
 当活動は活動参加者個人の負担と、ご援助をいただく皆さんの浄財で運営しています。第Ⅲ期活動からは日本キリスト教協議会・震災対策室および東北ヘルプ(第Ⅱ期から継続)から活動資金支援をいただいています。

**主管: AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)**  
**後援: 全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)**  
**支援: 日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)**